

アイヌの美しい手仕事

The Beauty of AINU Handiwork: From the Collections of Yanagi Soetsu and Serizawa Keisuke

柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから

2020 1.25 Sat — 3.15 Sun

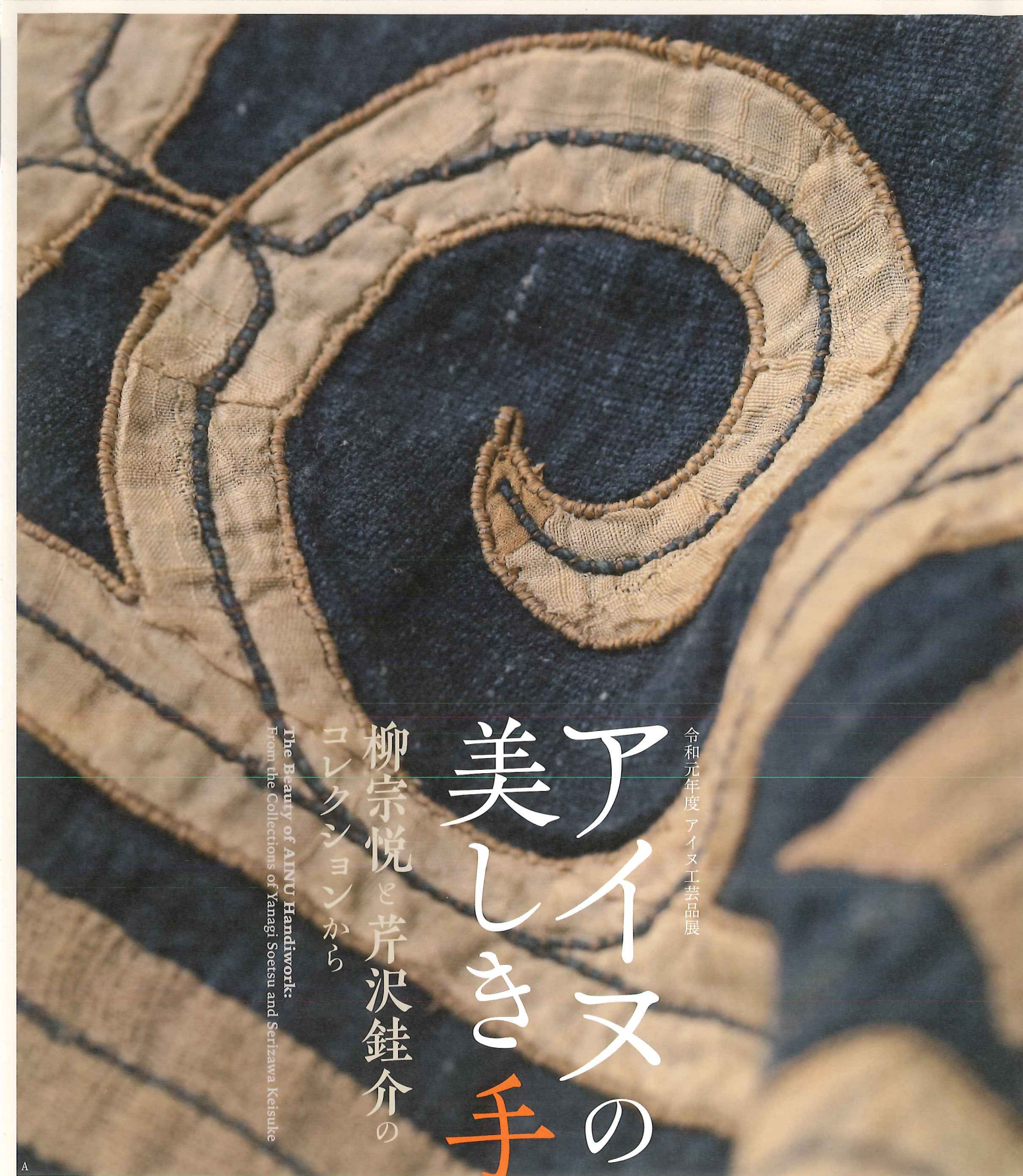
Opening Hours: 9:30am – 5:00pm, Last admission at 4:30pm
Closed: Monday (except February 24) and February 25

Organized by:
The Miyagi Museum of Art,
The Foundation for Ainu Culture

With the Special Cooperation of:
The Japan Folk Crafts Museum
Shizuoka City Serizawa Keisuke Art Museum

With The Support of:
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Hokkaido Board of Education, Ainu Association of Hokkaido
Sendai City Board of Education, KAHOKU SHIMPO PUBLISHING CO., Japan Broadcasting Corporation Sendai station
TOHOKU BROADCASTING CO LTD, Sendai Television Incorporated
Miyagi Television Broadcasting, HIGASHI NIPPON BROADCASTING Co., Ltd.
Sendai FM BROADCASTING, INC.
A: Garment (The Japan Folk Crafts Museum)
B: Tobacco container (Shizuoka City Serizawa Keisuke Art Museum) Photo: Murabayashi Chikako

THE MIYAGI MUSEUM OF ART
HP <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>
https://twitter.com/miyagi_bijutu



アイヌの 美しい手 仕事

柳宗悦と芹沢銈介の
コレクションから

The Beauty of AINU Handiwork:
From the Collections of Yanagi Soetsu and Serizawa Keisuke

令和元年度 アイヌ工芸品展

宮城県美術館
THE MIYAGI MUSEUM OF ART
〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL 022-2211211
<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>
https://twitter.com/miyagi_bijutu

○主催
宮城県美術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団
○特別協力・日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館
○後援・国土交通省、北海道教育委員会、
公益社団法人北海道アイヌ協会、
仙台市教育委員会、河北新報社、
NHK仙台放送局、TBC東北放送、
仙台放送、マイギテレビ、
KHB東日本放送、エフエム仙台

A 本郷地切伏刺繍衣袋(日本民藝館蔵(部分))
B 煙草入れ(静岡市立芹沢銈介美術館蔵(部分))
撮影/村林千賀子



2020
1 / 25
3 / 15
土 日

●開館時間
午前9時30分～午後5時
(発券は午後4時30分まで)

●休館日
毎週月曜日(ただし2月24日は開館)、
2月25日

本当に美しいとは何か。



右●木綿地切伏刺繍衣裳
表面図版Aの渦巻き文(モレウ)は、
この着物の裾模様のアップ。

下●紺ビロード地刺繍財布
(収集地:樺太)
さまざまな色の糸を使い、
チェーンステッチで華やかな
刺繍を施す。

今から約80年前の1941(昭和16)年、民藝運動の主唱者である柳宗悦は、アイヌの手仕事の美しさに着目し、日本民藝館で「アイヌ工藝文化展」を開催しました。作品選定と陳列を任されたのは、柳を師と仰いだ染色家の芹沢銈介で、染織、木工芸など600点を紹介。これが芸術的観点からアイヌの造形美を取り上げた最初の展覧会となりました。さらに柳は、雑誌『工藝』(106号、107号)でアイヌ文化を特集し、「美しいのみならず、立派でさえあり、神秘でさえあり、その創造の力の容易ならぬものを感じる」とその造形世界を高く評価したのです。

「アイヌ工藝文化展」に展示されたアイヌコレクション(杉山寿栄男蒐集)の多くは、残念ながら戦災で焼失しましたが、アイヌの美に魅せられた柳宗悦と芹沢銈介は、その後、多くの衣裳や工芸品を集め、それらは現在、日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館などに受け継がれています。

この展覧会では、柳宗悦と芹沢銈介の眼によって蒐集されたコレクションを中心に展示し、壮麗で力強い造形美を紹介しします。



柳宗悦

(やなぎ そうえつ、本名むねよし 1889-1961)
民藝運動の創始者で思想家。民衆の暮らしから生まれた実用品こそ健やかな美があることを見出し、1936年、東京駒場に日本民藝館を創設。美の思想を作品と展示により示しました。



芹沢銈介

(せりざわ けいすけ 1895-1984)
染色家。柳の主唱する民藝運動の主要メンバーとして活躍。1956年、「型絵染」で人間国宝に認定。1981年フランス芸術文化勲章。多彩な制作の一方で、世界の民族資料を蒐集しました。



●赤モスリン地切伏刺繍衣裳
毛織物の赤モスリンを全面に使用した極めて貴重な一点。*

アイヌの 美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介の コレクションから

The Beauty of AINU Handiwork:
From the Collections of
Yanagi Soetsu and Serizawa Keisuke



●帯織へら
樹皮繊維などで
布を織る際に使用するへら。
繊細な文様が目をひく。



●煙草入れ(収集地:樺太)
動物の骨や角を細工して、
紋章のような文様を象眼。
表面図版Bは、この煙草入れ
のアップ。



右●首飾り(タマサイ)
首飾りは、母から娘へと
伝えられる宝物(イコロ)であり、
護符でもあった。

左●色裂置文縞木綿衣
テープ状に切った布を縫い付けて
文様をデザイン。
赤や朱の使い方が効果的。



観覧料: 一般1,000円(800円)、学生800円(600円)、小中高生500円(300円) ※ ()内は前売および20名以上の団体料金

前売券販売所: 宮城県美術館 (販売期間2019年11月30日-12月15日、2020年1月22日-24日)



宮城県美術館 THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 TEL. 022-221-2111
HP <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>
https://twitter.com/miyagi_bijutu

〈交通案内〉

- 地下鉄利用の場合/市営地下鉄東西線、国際センター駅西1出口から北(右)へ徒歩7分、もしくは川内駅北1出口から東(右)へ徒歩7分
- バス利用の場合/仙台駅西口バスアール9番乗場から市営バス739系統「交通公園行(広瀬通経由)」もしくは730系統「川内営業所前行」に乗り、「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分。広瀬通一番町バス停(仙台フォアラス前)からも「交通公園行(広瀬通経由)」バスをご利用になれます。
- るーぶる仙台バスの場合/「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
- タクシー利用の場合/仙台駅から約10分
- 高速道路利用の場合/東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を経由して美術館へ。宮城I.C.より約15分

※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●次回展覧会予告
「ウィリアム・モリス
原風景でたどるデザインの軌跡」
4月11日(土) /
6月14日(日)

- 日本民藝館蔵
 - 静岡市立芹沢銈介美術館蔵
 - 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵
- *以外は村林千賀子撮影

- ◎ふれて楽しむ「アイヌ文化」
国立アイヌ民族博物館PR展示+体験イベント
来春開催の国立アイヌ民族博物館の展示を先取り体験できます。
日時: 3月8日(日) 11時~16時
①ムツクリ演奏体験
日時: 3月8日(日) ①10時~②14時
各回30分先着20名
- ◎学芸員による展示解説
日時: 2月15日(土)、2月24日(月・祝)、3月7日(土) いずれも14時
観覧券をお求めの上、2階展示室入り口にお集まりください。
- ◎まちなか美術講座
「アイヌの工芸」
日時: 2月1日(土) 13時30分
講師: 濱崎礼二(当館副館長)
会場: 東北工業大学一番町ロビー2階

●関連事業

◎講演会

「アイヌの美 柳と芹沢のまちなか」
日時: 1月25日(土) 14時(90分程度)
講師: 五十嵐聡美氏(本展企画委員会委員長)
会場: 講堂(聴講無料)